

通常型膵癌に対する膵頭十二指腸切除の周術期および長期成績への腹部大動脈石灰化(AAC)の影響

1、研究の対象

2010年1月から2023年12月までに、当院で通常型膵癌に対し膵頭十二指腸切除術を施行した患者様

2、研究目的・方法

・研究目的：生活習慣の変容により、動脈硬化性病変の増加に比例して心血管系疾患の有病率も上昇してきております。そのような中、全身の血管病変の中で腹部大動脈の石灰化（Abdominal aortic calcification: AAC）が心血管イベント発生と相関する報告がなされてきております。当院では腹部手術を多数施行しておりますが、AACを有する患者さんへの腹部手術も増加しつつあり、近年では腹部手術の中でも高難度な手術にあたる肝胆膵外科手術の周術期合併症や予後へのAACの影響が報告されつつあります。本研究では、当院で施行した、通常型膵癌に対する膵頭十二指腸切除の周術期および長期成績への腹部大動脈石灰化(AAC)の影響を解析することを目的としています。

- ・研究方法：カルテレビューをしてデータ収集を行います。
- ・研究期間：臨床研究倫理審査委員会承認日（病院長許可日）～2027年3月31日

3、研究に用いる試料・情報の種類

・疾患情報：年齢、性別、術前血液検査結果（腫瘍マーカーなど）、手術術式、術中情報、術後病理組織情報、短期および長期治療経過等についてカルテからのデータのみを用います。（試料はありません。）

4、個人情報の取り扱い

症例登録には登録症例の氏名、診療録ID等は使用せず、被験者の秘密保護に十分配慮いたします。研究の結果を公表する際は、被験者を特定できる情報を含めないようにします。

試料・情報の管理について責任を有する者：外科 消化器外科部長 伊禮 俊充

5、お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。なお、すでに学会や論文等で公表されている場合は撤回が困難であることはどうぞご了承ください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

住所：浦添市前田1-56-1 電話：098-878-0231（代表）

浦添総合病院

研究責任者：外科 消化器外科部長 伊禮 俊充